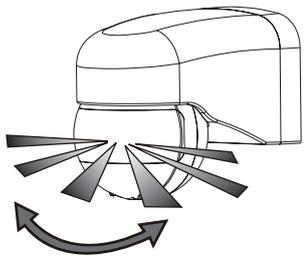


## 赤外線センサー部について



分類	検知方式	検知エリア	検知角度	環境の明るさ	動作保持時間	取付高さ	センサー部可動方向
人感センサー部	パッシブ インフラレッド方式	7m	180° (水平面) ※2	夜間のみ ～24時間	5秒～7分±2分	1.5～2.5m	左右 ※1

※時間や距離、明るさなどは、センサーの検知タイミングなどによって、多少のバラツキがあります。

※1: 左右に動かしすぎると、故障の原因となります。当り部(軽く動かして止まる所)以上に動かさないでください。

※2: 検知範囲が広すぎると感じる場合は、付属の人感センサー遮蔽シート(2枚)をセンサー面に貼り付けて、検知範囲を調整してください。



人感センサー遮蔽シート  
(付属品)

### 【動作時間調整ボリューム】

動作保持時間の調整ができます。  
動作保持時間とは、センサーが検知物を検知しなくなってから、製品が動作し続ける時間です。  
赤外線センサー下側のツマミを動かして調整を行ってください。

ボリューム	内容(灰色:出荷時設定)
	～7分±2分
	～5秒



次の検知の準備のため、  
動作終了後、約3秒間は  
検知を行いません。

### 【感度調整ボリューム】

赤外線センサーの感度の調整ができます。  
感度とは、センサーが検知物を検知するときの周囲の明るさです。  
赤外線センサー下側のツマミを動かして調整を行ってください。

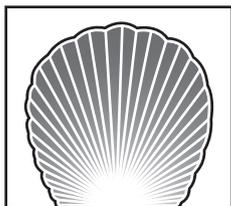
ボリューム	内容(灰色:出荷時設定)
	夜間、暗い場所のみで検知用 (10ルクス未満)
	昼間・夜間関係なく検知 24時間検知用 (約2000ルクス)

### ■検知エリアについて



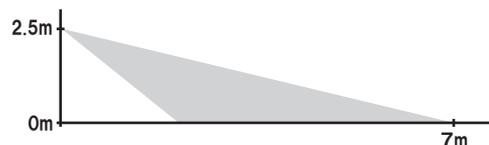
温度が高くなると、検知エリアは狭くなります。センサーの検知性能は周囲の環境によって変化しますので、設置前によくご確認ください。

#### 【平面図】



検知範囲7m

#### 【側面図】



## センサーに関する注意

- 検知エリアは放射線状になっています。センサーに対して検知物が左右に横切るよう(図1)に取付けてください。検知物がセンサーに対して正面に直進するよう(図2)に近づくと、検知物の状態の変化が少なくなり、検知しない又は感度が鈍くなります。
- 本製品のセンサーは人体検知ではなく、赤外線温度変化を検知するものです。そのため人体以外の熱源が検知エリアを横切れば検知を行います。小動物、水蒸気、風、雨、雲間からの太陽光の変化で検知する場合があります。また検知エリア内に人が侵入しても、静止していれば検知しません。
- 赤外線はガラスを通しにくいので、車両等の窓ガラス越しでの人体検知感度は極端に低下します。車両検知用としては、簡易車両入出庫警告灯もご用意しております。詳細はお買い上げ販売店へお問い合わせください。
- センサーのレンズ部に汚れ等が付着すると、透過する赤外線の効率が低下し、検知感度にも影響がでます。
- 検知エリア正面から太陽光やその反射光、車のヘッドライト、外部照明灯などが直接当たる場所には取付けないでください。誤作動の原因となります。
- 検知エリア内に動く物(カーテン、植物など)がある場所には取付けないでください。誤作動の原因となります。
- 雷が多発するところには取付けないでください。誤作動の原因となります。
- 振動が激しい場合、センサーの方向がズレて検知エリアが変化します。振動、衝撃のある場所への取付けにはご注意ください。
- センサー付近の明るさを確認して、センサーの感度調整を行ってください。
- 動作保持時間の設定は、センサーが検知をしなくなってから、製品が動作し続ける時間を調整します。製品の動作時間内に再びセンサーが検知すると、そこから再び設定した時間の分、製品の動作が延長されます。
- センサーの検知性能は周囲の環境によって変化しますので、設置前によく確認の上ご使用ください。

図1

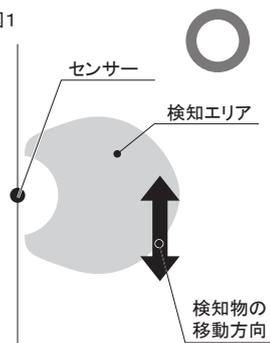


図2

